



【感染症だより】

～胃腸炎・脱水症について～

5月はウイルス性胃腸炎が流行りました。嘔吐や下痢、発熱などの症状が出ますが、ぐったりして顔色が悪くなり、ボーっとしているときには脱水の症状です。脱水症とは、体の中の水分や塩分、糖分などが不足して血圧が下がり、全身状態が悪化した状態です。軽い脱水症であれば、経口補水液などで自力回復することができます。しかし、飲んででも繰り返して吐いてしまう時や、高熱や多量の水様便で飲水が間に合わない時には、医療機関での点滴や入院して点滴治療が必要となります。特に脱水になりやすい乳幼児や高齢者は、吐き気止めや経口補水液などを利用して上手に水分を摂りましょう。

～マイコプラズマ感染症について～

マイコプラズマというのは、*Mycoplasma pneumoniae* という細菌の一種ですが、細菌の中で最も小さく、ウイルスに似た性質を持っている微生物です。マイコプラズマにかかるのは、乳幼児よりも学童に多いのが特徴です。飛沫感染によって伝染します。潜伏期は通常2～3週間で、発熱、だるけ、頭痛、咽頭痛、咳で始まります。咳は次第に強くなり、解熱した後もしばらく続きます。見た目には元気そうなが多く、レントゲンを撮影して初めて肺炎と気づかれることがあります。自然にも回復しますが、マクロライド系抗生物質（クラリス、エリスロシン、ジスロマックなど）で治療します。マクロライド耐性菌（マクロライド系抗生物質が効かない菌）に対しては、テトラサイクリンという抗生物質を使用することもあります。マイコプラズマは、肺炎だけでなく中耳炎、まれに脳炎や髄膜炎、心筋炎、関節炎を起こすこともあります。頻度は低いですが、合併症にギランバレー症候群やスティーブンスジョンソン症候群、溶血性貧血などを起こすことがあります。これらは、マイコプラズマに感染することによって体内の免疫反応が活性化して起こります。症状が変化したときには様子を見ずに医療機関を受診しましょう。

表：5月しみず小児科・内科クリニックで検出された流行性の感染症

|   | 感染症         | 患者数 |
|---|-------------|-----|
| 1 | 胃腸炎         | 60  |
| 2 | 溶連菌         | 15  |
| 3 | マイコプラズマ肺炎疑い | 4   |
| 3 | おたふくかぜ      | 4   |
| 5 | インフルエンザ A   | 3   |
| 6 | インフルエンザ B   | 3   |
| 7 | 水ぼうそう       | 1   |
| 8 | アデノウイルス     | 1   |

文責： 清水マリ子

